

今月のトピック

ガンマーカメラ リニューアル!!

放射線診療部 放射線技術科長 秋山 洋一

この度、ガンマーカメラがリニューアルされました！
「ガンマーカメラって何？」とお思いの方もいらっしゃると思いますので、大まかに説明致します。

核医学検査で使われる装置がガンマーカメラで、ほとんど全身のどの部位も検査できますが、当院では主に、脳・肺・心臓・骨・リンパ節などを検査しています。脳はアルツハイマー型認知症やパーキンソン症候群など、肺は肺機能や肺梗塞など、心臓は狭心症や心筋梗塞など、骨は骨転移、リンパ節はリンパ節転移などの診断に使われています。

核医学検査とは、体の外からX線をあてるエックス線検査と違い、注射やカプセルなど放射線を出す薬を体内に投与して、代謝され各臓器から出てきた放射線をガンマーカメラという装置で画像にする検査です。そのため投与してから代謝されるまでの時間や、代謝の程度を表すことができるので、形態と機能の両方をみることのできる数少ない検査の1つです。

今回の更新により画質が飛躍的に向上し、撮影時間もかなり短縮されるようになりました。

これからも、できるだけ早期に、正確に診断できるよう貢献してまいりますので、期待して下さい!!



門柱



案内板

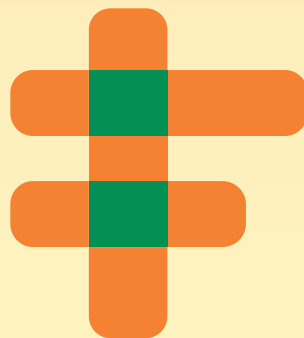


玄関

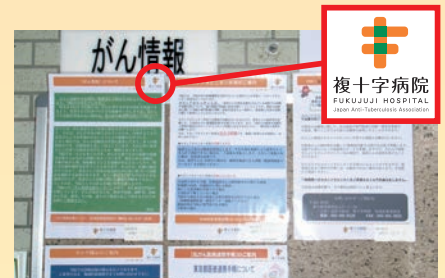


外看板

4月より複十字病院の
ロゴマークが
新しくなりました



複十字病院の新しいロゴマークは
こんなところに使われています



複十字病院
FUKUJUJI HOSPITAL
Japan Anti-Tuberculosis Association



封筒

ネームプレート



名刺

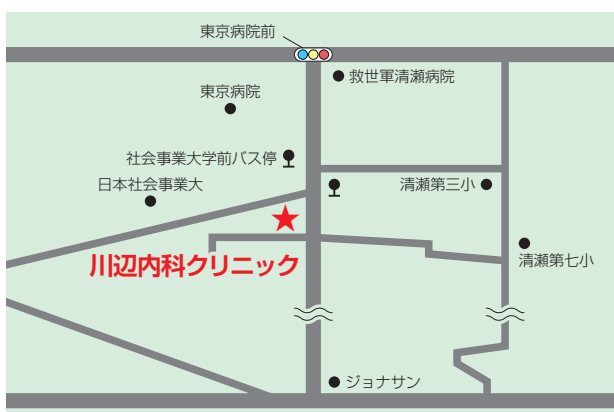


川辺内科クリニック

住所 〒204-0023
東京都清瀬市竹丘2-1-3

電話 042-496-3311

診療科 内科、呼吸器内科、アレルギー科



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	○	×	○	×	○	○	×
15:00~18:00	○	○	○	×	○	×	×

長年勤めた東京病院のそばで開業して10年になります。勤務医ですと定年後の年齢ですが開業医としては中堅どころでしょうか。

高血圧、糖尿病、脂質異常症などよくある病気をきちんと診ること、呼吸器疾患は専門医として良質の医療を提供すること、急を要するものや癌など重大な疾患を見逃さないことを心掛けてきました。実際にはからだところのよろず相談みたいなものです。話をよく聞くこと、それも開業医の大きな役割だと思っています。

何よりも、複十字病院、東京病院、多摩北部医療センターとそれぞれ特徴のある基幹病院が近くにあり、連携室を通じてスムーズに紹介することができるので、安心して診療できるのが有難いことです。眼科、皮膚科、整形外科、耳鼻科など他科の開業の先生にもよくお世話になっています。紹介した患者さんに関する丁寧な専門的なお返事・診療情報書をいただけるので、それがいちばんの生きた勉強になっています。連携病院や医師会の講演会は、特に自分の専門外の医療の実際や最先端の話題を学ぶいいチャンスで、できるだけ参加しています。幅広く物知りになることが特に開業医にとっては重要なことなのです。

開業時は、特定健診が始まった年でした。“メタボ”を念頭に食事（食べ過ぎ・塩分制限・野菜をしっかり食べることが主）と運動についての話を中心でした。今は“フレイル”対象者が多くなり、しっかりよくかんで食べること、“栄養”をとる事、歩くこと、人とおしゃべりをするのが大切ですよと話をすることが多くなっています。

通院が難しくなる高齢者や認知症が出てくる方も増えており、介護との連携が欠かせません。心苦しいのですが、具合悪くなって急に入院されて亡くなったとか、退院時に在宅診療の先生にお願いしていただいたという方も多くなっています。患者さんに教えられ、連携で助けられ、なんとか10年やってこられました。今後ともよろしく願いいたします。



川辺 芳子 院長

看護の日

看護部 手術・中材・内視鏡室師長 吉垣 ゆかり

5月12日はナースの誕生日。今年も5月12日に看護の日のイベントを開催しました。

看護週間に合わせ、看護にまつわる心温まるエピソードを集めた“こころに残る看護エピソード”をパネル展示しました。

イベント内容は、血圧・身長体重・血糖値・肺年齢などの測定、簡易認知症検査、栄養士による食事相談、介護用品・東洋羽毛などの展示や、ご好意で頂いた竹細工や手芸作品などを無料配布させて頂きました。

当院ならではの“肺年齢”測定はとても人気があり、若い肺ではなんと18才未満の結果を残した方もおりました。そして物忘れ外来にて実施していた“認知症検査”が5分程度の簡易項目で出来るようになり、気軽に相談できる窓口になりました。来年もご期待下さい！



2A病棟 ナースエイド 関川 悠子

看護に関わる人は、ただ機械の様に動いているだけではない。病気の方の気持ちに寄りそい、出来るだけやさしく、味方になってあげなければいけない。かのフローレンスも常にそうして実行していました。「あいさつ」は、基本的な礼儀でありコミュニケーションの入り口です。

病院の中で働く私達は、常に人との関わり合いの中でお互いに助けあい、支えあい、励ましあっています。時には迷惑や心

配をかける事もあるかと思えます。でも、「あいさつ」さえ出来ていれば、たいていの人間関係は円満に行くと思えます。気持ちの良い「あいさつ」をすると、自分だけでなく、周りにも良い影響を与えることができます。

私の仕事に対する臨み方は、「あいさつ」をすることからです。複十字病院接遇スローガンに応募するに当たり『心のふれあい 明るいあいさつ』は、自然と口をついて出てきました。改めて気を引きしめて仕事に臨んで行こうと思えます。

2017年度複十字病院接遇スローガン

『心のふれあい
明るいあいさつ』

複十字病院の行事予定

第3回複十字病院地域交流会 | 2017年7月11日(火) | 時間 19:15~ | 場所 清瀬アミューホール

市民公開講座 | 時間 14:00~16:00 | 場所 清瀬アミューホール

患者さん向け・申込不要・参加無料
お問い合わせ：事務部庶務課 042-491-4111

呼吸器センター・がんセンター	7月8日(土)
認知症疾患医療センター	9月9日(土)
呼吸ケアリハビリセンター	9月30日(土)
消化器センター	10月14日(土)
呼吸器センター・がんセンター	10月21日(土)
乳腺センター	11月11日(土)



地域医療支援センターからのご案内

がん相談支援センター 鷹背 昌子

がん になったら、あなたは仕事を辞めますか？働き続けますか？ がん患者さんの約3人に1人は就労可能な年齢（15歳～64歳）で罹患しており、その中には診断後に仕事を辞めてしまった、という経験を持つ方も多くいらっしゃいます。

『‘がん’ になったら職場に迷惑がかかる』『‘がん’ になったら退職しなければならない』と思い込み、誰にも相談せず依願退職したり、『‘がん’ になったのだからもう働けないでしょう』と、退職を勧められたり、ということがあるようです。

平成26年度に内閣府が行った世論調査によると『がん対策について政府としてどのようなことに力を入れてほしいと思うか』との質問に対し『‘がん’ のために就労困難となった場合の相談・支援体制の整備をしてほしい』という要望が多くあったそうです。国は‘がん’ になっても治療を継続しながら安心して働くことのできる社会の実現に取り組んでいます。がん患者さんを、治療と仕事の両立に配慮して新たに雇い入れ、継続就業に必要な支援を行う事業主に対し、奨励金を支給するなどの支援を東京都でも行っています。

一人で悩まず、また早急に結論を出してしまう前に、がん相談支援センターにご相談下さい。

連絡先電話番号：042-491-9128（地域医療連携室 直通）



予約・紹介のご案内

■ 受付時間

平日 8:30～17:00 土曜日 8:30～12:00

■ 医療機関・紹介状をお持ちの患者さんのご予約

電話 042-491-9128 FAX 042-491-3553

■ 再診・初診（紹介状なし）のご予約

電話 042-491-6228

複十字病院

〒204-8522 東京都清瀬市松山3-1-24

代表電話 042-491-4111

代表FAX 042-492-4765

交通のご案内

■ 電車でお越しの方

- ・西武池袋線『清瀬駅南口』より徒歩12分
または、バス『南口2番乗り場』より3つ目『複十字病院前』下車
- ・JR中央線 武蔵小金井駅より『清瀬駅南口ゆき』
バス『保育園入口』下車 バス停より徒歩5分

■ お車でお越しの方

- ・小金井街道『清瀬高校入口』信号を曲がり 西に300メートル
- ・所沢街道『全生園東』信号を曲がり病院通りを東北に2キロメートル